

## 米国学術研究の動向

### 米国大学における研究開発に関する支出調査報告の発表について

国立科学財団(National Science Foundation: NSF)が発表した報告書によると、2009年度の全米の大学における研究開発に関する支出は前年比で5.8%増となる約550億ドルに達したという。各分野の中で最も高額な支出がなされたのは生命科学分野で328億ドル、これは研究開発に関する支出全体の約60%を占める。なお、増加率が最大であったのは物理学分野で前年比16.4%増の19億ドル、減少率が最大であったのは数理科学分野で前年比10.9%減となる5億5,300万ドルであった。

また、研究開発に関する支出が最も多い大学上位5校の顔ぶれは2004年度から変更はなく、2009年度は1位から順に、ジョンズ・ホプキンス大学(Johns Hopkins University, メリーランド州)、ミシガン大学(University of Michigan、ミシガン州)、ウィスコンシン大学マディソン校(University of Wisconsin, Madison、ウィスコンシン州)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校(University of California, San Francisco、カリフォルニア州)、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(University of California, Los Angeles、カリフォルニア州)となっている。

これら5大学の2009年度の研究開発に関する支出額は下表のとおり。

	大学名	支出額
1	ジョンズ・ホプキンス大学	18億5,600万ドル
2	ミシガン大学	10億700万ドル
3	ウィスコンシン大学マディソン校	9億5,200万ドル
4	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	9億4,800万ドル
5	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	8億9,000万ドル

参考:

国立科学財団ウェブサイト

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf10329/>